

もうすぐ冬景色

冬道の安全に向けた

国交省における除雪の取り組み



もう除雪は始まっています。



「防雪柵設置」

雪が降ってからでは遅い

雪が降ってから除雪。それだけでは目指す「安全・安心」は確保できない。降雪期前までに、除雪機械の整備、凍結抑制剤の調達、情報連絡体系の確立等々に奔走する。道路上では、夏場たたんでいた防雪柵の設置(写真上)、砂箱への砂や凍結抑制剤の補充を実施。他にも、スリップ注意看板の設置、スノーポールの設置(写真下)など、やるべき事は大量にある。除雪に携わる者全て、既に「除雪」モードに入っている。



「スノーポールの設置」

冬の安全・安心を守る。



「除雪トラック」

安全・安心に昼も夜もない

降雪は昼夜問わず訪れる。そのため除雪も昼夜問わず実施される。除雪と一口に言っても、新雪を道路脇に寄せる除雪トラック(写真上)や、路上で堅くなった雪を削り取る除雪グレーダ(写真下)など、様々な除雪機械で行われる。それぞれ除雪機械の連携により「安全・安心」が確保されている。



「除雪グレーダ」

雪道を啓

(ひら)く。



「ロータリ除雪」

溜まった雪が車道を埋め尽くす前に

車道には路肩がある。少量の雪であればそこに雪を溜めることが出来る。雪を溜めきれなくなると車道にまで雪が溜まってくる。通行の確保が出来なくなる。ロータリー除雪車(写真上)はそんな溜まった雪を更に上へ排出していく。それでもだめならダンプトラックを併用し運搬排雪(写真下)を実施。車線幅を確保する。啓くとは閉じたものを、あいた状態にするということ。



「運搬排雪」

道路ユ一ザ一全てが対象。



車道に雪がないから終了ではない

道路除雪は単なる「雪かき」ではない。

車道に雪がなくとも凍結の恐れ、また、歩道だって道路空間である。

車道除雪が終わっても、凍結抑制剤の散布(写真上)、歩行者のための歩道除雪(写真下)を実施。

どんな路面状況にも対応する、歩道もまた道路の一部だから除雪する。

そこまでやってこそ「道路除雪」という。



機械だけが除雪ではない。



「斜面の人力除雪」

機械除雪だけで安全・安心は確保できない

車道だけ除雪をやっていれば安心だということは有り得ない。斜面からの落雪対策や凍結対策も「除雪」だ。

それは、機械だけで全うすることは出来ない。「マンパワー」が必要だ。

降雪が続いたら、斜面からの落雪を未然に防止するための人力除雪(写真上)は絶対必要な作業。

ピンポイントの凍結抑制対策は、自動散布装置による薬剤散布が迅速・的確だ。

日常の点検・補充(写真下)をやってこそ「安全・安心」が確保される。



「点検・補充」

地元住民との協働。

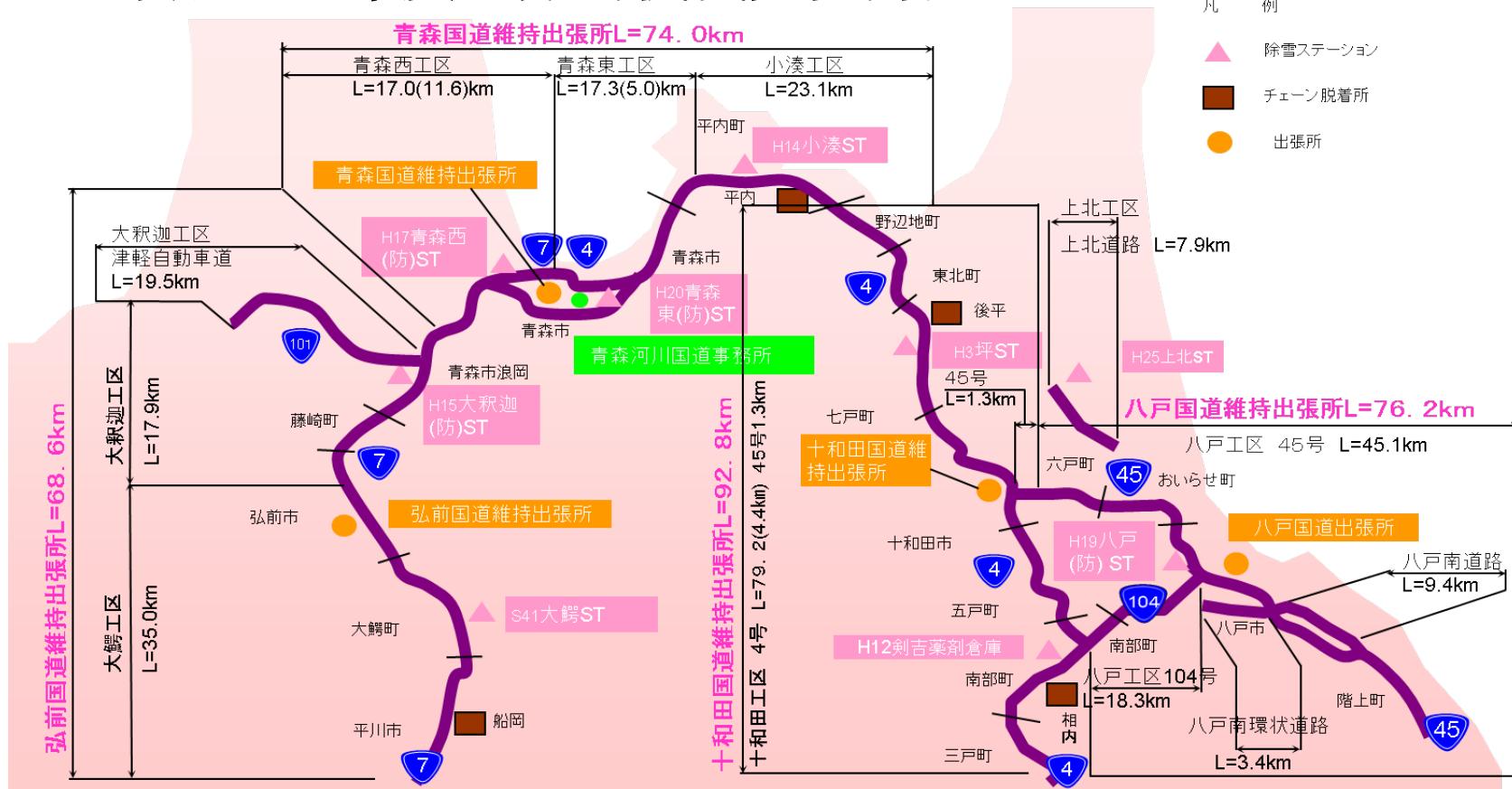


「ボランティア除雪」

地元住民の協力があってこそ

地元住民の協力があってこそ「安全・安心」を確保できる。
ボランティアサポートプログラムによる町内会の歩道除雪(写真上)が大活躍だ。
きめ細やかな除雪に地元住民との協働は欠かせない。

平成26年度 除雪機械配置計画



- 国道4、7、45、101、104号の延長約L=315.4 kmを管理
- 除雪ステーション数は8箇所、除雪機械は全86台の体制
- 管理区間内には、45号八戸南道路、八戸南環状道路、上北道路、101号津軽自動車道の自動車専用道路も含む

初冬は事故が多発します! 早めの冬タイヤ装着を!!

安全
運転

夏タイヤ使用による走行不能は、渋滞や事故の原因になります。

早めのタイヤ交換で安全走行をお願いします。

- 速度を抑えた安全運転をお願いします。
- タイヤチェーンの装着は、路外でお願いします。
- 冬期間は路面状況により交通渋滞が発生する場合があります。渋滞時間を回避するため、少し早めの出発をお願いします。

道路の異状を発見したら…

道路
緊急
ダイヤル
(無)

緊急
通報

#9910へ

24時間
受付



青森みち情報イメージキャラクター
「冬将くん」

青森の道路情報が満載! 「青森みち情報」
パソコンからは<http://www.koutsu-aomori.com>



ケータイサイトQRコード